

3号機 原子炉再循環ポンプ(B)軸封部の監視強化について
(軸封部からの排水量の増加)

平成 18 年 12 月 13 日

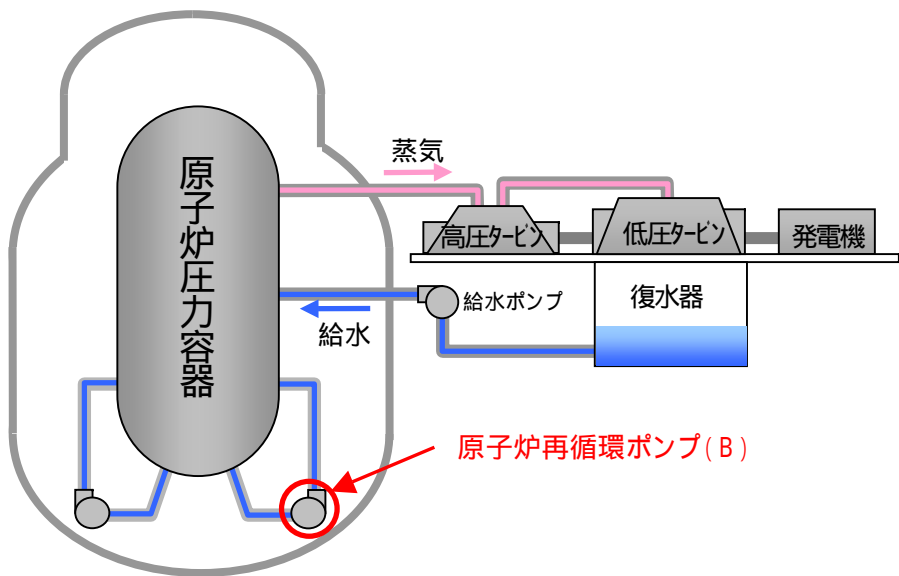
発生号機	3号機 (調整運転中) 沸騰水型、定格電気出力 110万キロワット
発生年月日	平成 18年 12月 13日
発生時の状況	<p>定格熱出力一定運転中の 3号機において、原子炉再循環ポンプ(B) 第 2段軸封部(1)からの排水量に緩やかな増加傾向が見られ、この傾向が継続していることを確認しました。</p> <p>本日、排水量が警報設定値(1リットル/分)の 10分の 1に達したことから、原子炉再循環ポンプ(B)第 2段軸封部について、関連パラメータ(2)の監視強化を行うこととしました。</p> <p>原子炉再循環ポンプの軸封部は 2段で構成されており、現在の状況においても軸封部自体のシール機能は確保されており、直ちに当該ポンプの運転に影響を与えるものではありません。</p> <p>本事象によるプラントへの影響はなく、安定運転を継続しております。</p> <p>また、軸封部から排水された水は、液体廃棄物処理系に導かれる設備構成となっており、同系で適切に処理されています。</p> <p>なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p>
お知らせ基準	表 2 - 1」に該当します。

- 1 軸封部は、ポンプ内部の流体(原子炉水)が回転軸の隙間から浸入しないように設けられている部品。
- 2 関連パラメータは、原子炉再循環ポンプ軸封部の圧力、温度および排水量。

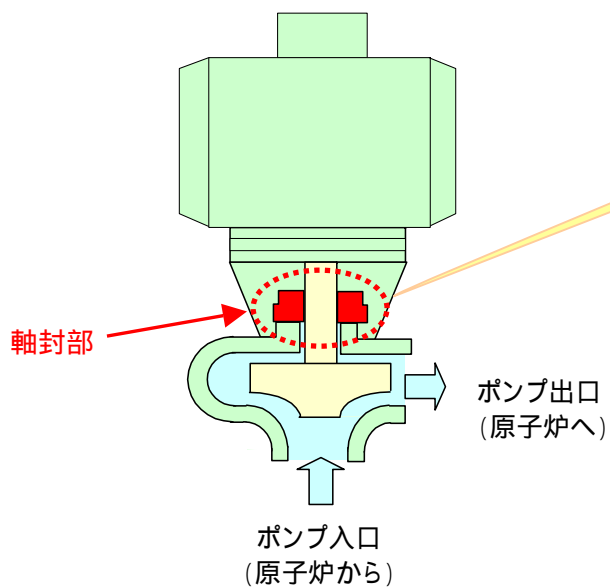
以上

浜岡3号機 原子炉再循環ポンプ(B) 概略図

再循環ポンプ系統概略図



再循環ポンプ概略図



軸封部拡大図

